



令和8年度

販路支援課
事業説明

販路支援 目次

1. 専門展示会出展支援・各種展示会出展費用の助成
2. 新たな手法による営業活動助成
3. 首都圏への販路開拓支援サービス
4. 海外へのビジネス展開支援

1. 専門展示会出展支援・各種展示会出展費用の助成

新規取引先の開拓を積極的に取り組もうとする県内企業に対し、全国規模の専門展示会において**島根ブースでの共同出展**により営業活動を支援します。

令和8年度 出展予定展示会

展示会名	期 間	出展企業（予定含む）
機械要素技術展（名古屋）	2026.4.8～10	10社 募集終了
機械要素技術展（東京）	2026.7.1～3	17社 募集終了
機械要素技術展（大阪）	2026.10.7～9	10社程度 (4月末～募集開始予定)

※下期以降、上記に加え他展示会への出展可能性あり

企業負担金

新規出展企業 一般枠：7万円、特別枠：3.5万円

継続出展企業 一般枠：15万円、特別枠：7.5万円

※ 特別枠は三菱マヒンドラ農機もしくはリョーノーファクトリーと取引があり、売上全体の5%以上（直近の決算期または直近3か年の平均いずれか）を占める企業が対象（ティア2、3含む）

※ 旅費、宿泊費は別途必要



1. 専門展示会出展支援・各種展示会出展費用の助成

過年度出展展示会 支援事例

●令和7年度展示会出展実績

会場	名古屋	東京	大阪
展示会来場者数	33,257人	55,749人	30,615人
財団名刺交換数	227名分	268名分	645名分

開催地		令和5年度			令和6年度			令和7年度		
名古屋	出展社数	8			8			7		
	実績数値	商談数	見積依頼数	成立件数	商談数	見積依頼数	成立件数	商談数	見積依頼数	成立件数
		217	13	4	211	16	6	396	14	3
東京	出展社数	11			14			12		
	実績数値	商談数	見積依頼数	成立件数	商談数	見積依頼数	成立件数	商談数	見積依頼数	成立件数
		383	19	12	366	31	14	536	25	0
大阪	出展社数	12			15			14		
	実績数値	商談数	見積依頼数	成立件数	商談数	見積依頼数	成立件数	商談数	見積依頼数	成立件数
		296	37	14	453	40	14	463	26	0

1. 専門展示会出展支援・各種展示会出展費用の助成

県内の意欲ある中小企業が、自社の製品や技術をPRするため、県外で開催される**専門展示会や見本市に出展にかかる経費の一部を助成**します。

専門展示会出展助成金

●対象者

- ・島根県内に主たる事業所を有する中小企業
- ・機械金属、樹脂、電気及び電子部品等の製造を行っている企業

●対象となる展示会

- ・エリア：島根県外かつ日本国内で開催
- ・規模：全国的な規模の展示会等
- ・分野：環境、福祉、住環境、機械金属、エレクトロニクス等

- 助成額** 一般枠：上限30万円 対象経費の1/2 ※随時審査（予算に達し次第、終了）
特別枠：上限45万円 対象経費の3/4

特別枠は三菱マヒンドラ農機もしくはリョーノーファクトリーと取引があり、売上全体の5%以上（直近の決算期または直近3か年の平均いずれか）を占める企業が対象（ティア2、3含む）

●対象経費

- ①出展小間料：出展期間中の出展小間料
- ②小間装飾費：小間の装飾費、出展に必要な資材費（ポスター・パネル作成等）
 リース代（会期中に会場で使用する机・椅子等）、会場での光熱水費等
- ③旅 費：展示会等に参加する際の交通費および宿泊費 ※原則1事業者につき1名分

1. 専門展示会出展支援・各種展示会出展費用の助成

専門展示会出展助成金 支援事例

●出展企業

事業内容：樹脂製品の製造・販売

●展示会

展示会名：国際福祉機器展

概要：ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した介護ロボットまで、世界の福祉機器が一堂に集まる、世界でも有数の福祉機器総合展示会

●出展結果

商談件数：16件

リニューアル製品を展示し、実物を来場者に見てもらうことで具体的な商談を進めることができた。

●出展効果

成立件数：11件

既にシェアが確保できている分野に加えて、新規分野で自社製品認知度向上を図り、新規取引先の獲得を目指したい。

2.新たな手法による営業活動助成

コロナ禍～アフターコロナにおける、「新たな日常に対応したものづくり産業販路拡大支援事業」として2つの販路支援助成金の公募しております。

1.ウェブを活用した販路拡大支援助成金

ウェブやデジタル技術を活用した自社製品や部品取引の販路拡大を図る取組みを支援

(対象者) 機械金属、樹脂、電気および電子部品等を製造する県内中小企業

(助成額) 一般枠：上限100万円 対象経費の1/2

(対象経費) ウェブサイト制作費・改修費、ウェブ広告、ウェブ展示会、有料マッチングサイト等

2.営業代行等を活用したものづくり産業販路拡大支援助成金

営業代行を活用して販路拡大を図る取組みを支援

(対象者) 機械金属、樹脂、電気および電子部品等を製造する県内中小企業

(助成額) 一般枠：上限100万円 対象経費の1/2

特別枠：上限150万円 対象経費の3/4

**※特別枠は三菱マヒンドラ農機もしくはリョーノーファクトリーと取引があり、
売上全体の5%以上（直近の決算期または直近3か年の平均いずれか）を占める企業が
対象（ティア2、3含む）**

(対象経費) 営業代行会社等のサービス利用料、サンプル・パンフレット等の製作費等

3. 首都圏への販路開拓支援サービス

事業概要

首都圏等販路開拓を目的とした事業に対して、営業代行会社と連携して、取引マッチング支援を行います。（原則無料でご利用できます。旅費など一部除く。）

- 対象者** 申請ができる者は、次のすべてを満たす者とします。
- 1) 島根県内に本社又は事業所を有する中小企業であること。
 - 2) 自社製品を有していること(ただし、食品・工芸品は除く)。

事業期間 営業代行会社との初回ミーティングを起算とした4カ月程度

スキーム図

4
か
月
程
度



- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| ①申請 | •財団ホームページより申請書をダウンロードのうえ、ご提出ください。 |
| ②審査 | •審査会(書面審査)を実施のうえ、採否を決定します。 |
| ③営業代行会社選定 | •財団が提示する候補の中から、営業代行会社を選定いただきます。 |
| ④マッチング準備 | •営業代行会社とマッチングに向けた打合せを行っていきます。 |
| ⑤マッチング | •営業代行会社によるマッチング活動を行います。 |
| ⑥商談 | •マッチング先と直接商談いただきます。 |
| ⑦実績報告 | •事業実施後、実績報告書をご提出ください。 |

①費用面（・機能面）支援

- ・しまね海外ビジネス活動支援助成金

②セミナー等（情報提供・普及啓発・発掘）

- ・英語版Webサイト講座・個別コンサルテーション
- ・海外展開個別相談

③国際化相談

- ・国際化支援アドバイザー

しまね海外ビジネス活動支援助成金

県内企業による自社製品・サービス等の海外販路開拓、海外進出計画の策定、人材の確保・育成に必要な経費の一部を助成

対象経費：旅費・交通費、宿泊費、出展小間料、通訳費 ほか

(対象者) 県内に主たる事務所又は事業所を有する、又は助成事業で対象とする製品等の生産拠点を県内に有する中小企業者など。

(助成限度額) 20万円～100万円 (販路開拓・協業・直接投資のための調査事業 他)
20万円～300万円 (現法設立事業)

(助成率) 対象経費の1/2以内

★随時募集 (～2027年2月下旬。ただし予算額に達し次第締切ります)

4. 海外へのビジネス展開支援② セミナー等

海外展開に取り組む（又は今後取り組もうとする）企業等を対象に、各種情報提供を行うセミナーや海外取引に役立つノウハウやスキルを学ぶ勉強会等を開催。
個別コンサルテーション2テーマを中心に展開予定。

①英語版WEBサイト講座・個別コンサルテーション

- 講座：英語版WEBサイト構築の必要性、構築のポイント、SEO など
- 個別：サイト構築時の個別指導（1回/月 全8回 3～5社/年度）

②海外展開個別相談

- 1社当り概ね全3回/月1回、全8社程度、外部専門家によるコンサルテーション
- 販路開拓の目の付け所、ターゲット設定、海外マーケティング調査法、営業ツール、初めての海外展開に向けた総合的な課題抽出 など
- 初回は企業訪問による対面相談、以降オンラインを予定。
（各社個別の事情により柔軟に対応。）

国際経験豊富な国際化支援アドバイザーが、貿易・投資等に関する個別相談に随時対応。

国際化支援アドバイザー

渡部 英司（わたなべ えいじ）



1956年島根県大田市生まれ、松江市で育つ。

79年伊藤忠商事入社。80年から香港大学、北京大学を修業。

機械カンパニーにおいて、中国、台湾、韓国、北米、欧州、東南アジアなどの輸出入・三国貿易に携わる。

04年海外戦略開発推進室にて海外ブロック経営企画業務に従事、05年中国室長、07年中国現法社長として、急成長する中国を舞台に、機械、自動車、食料、生活資材、化学品、合樹、金融、医療等の様々な分野において、事業投資と地場取引を推進。

NEDOでの再生可能エネルギーとEVを用いた米国VPP、EVバス・マレーシア・プロジェクト従事を経て、本社内部監査業務。

21年財団入職。島根県と伊藤忠商事との提携協定（05年締結）の下、4代目国際化支援アドバイザー。